

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】令和 3 年 5 月 20 日 (2021.5.20)

【公開番号】特開 2019-197086 (P2019-197086A)
【公開日】令和 1 年 11 月 14 日 (2019.11.14)
【年通号数】公開・登録公報 2019-046
【出願番号】特願 2018-89437 (P2018-89437)
【国際特許分類】

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

B 2 4 B 9/14 (2006.01)

B 2 4 B 41/06 (2012.01)

【F I】

G 0 2 C 13/00

B 2 4 B 9/14 B

B 2 4 B 41/06 A

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 4 月 8 日 (2021.4.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡レンズを搬送するための搬送装置であって、

前記眼鏡レンズを側面方向から挟持する第 1 ピン及び第 2 ピンからなる 1 対のクランプピンを有する第 1 クランプピンユニットと、前記眼鏡レンズを前記第 1 クランプピンユニットとは異なる側面方向から挟持する第 3 ピン及び第 4 ピンからなる 1 対のクランプピンを有する第 2 クランプピンユニットと、を少なくとも備えるクランプピンユニットと、

前記第 1 クランプピンユニットの 1 対のクランプピンを開閉方向に連動して移動させる第 1 移動手段と、

前記第 2 クランプピンユニットの 1 対のクランプピンを開閉方向に連動して移動させる第 2 移動手段と、

を備え、

前記第 1 移動手段と、前記第 2 移動手段と、が互いに独立して駆動することで、前記眼鏡レンズを前記クランプピンユニットに挟持させることを特徴とする搬送装置。

【請求項 2】

請求項 1 の搬送装置において、

前記第 1 ピンと前記第 2 ピンとは、前記クランプピンユニットのクランプ中心位置から等距離かつ対向して配置されるとともに、前記第 3 ピンと前記第 4 ピンとは、前記クランプ中心位置から等距離かつ対向して配置されることを特徴とする搬送装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 の搬送装置において、

前記第 1 ピン及び前記第 2 ピンから前記クランプ中心位置までの距離と、前記第 3 ピン及び前記第 4 ピンから前記クランプ中心位置までの距離と、は等距離であることを特徴とする搬送装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれかの搬送装置において、

前記第 1 クランプピンユニットが有する前記第 1 ピン及び前記第 2 ピンと、前記第 2 クランプピンユニットが有する前記第 3 ピン及び前記第 4 ピンと、は前記クランプ中心位置を中心とした同一円周上の周方向に等間隔で配置されることを特徴とする搬送装置。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれかの搬送装置において、

前記クランプピンユニットに対する前記眼鏡レンズの位置を制御する制御手段を備え、
前記制御手段は、前記眼鏡レンズの中心が前記クランプ中心位置付近に位置するように、
前記眼鏡レンズの位置を制御し、

前記クランプピンユニットは、前記制御手段により位置決めされた前記眼鏡レンズを、
前記第 1 移動手段及び前記第 2 移動手段によって挟持することを特徴とする搬送装置。